

# 目次

[概要](#)

[問題](#)

[症状](#)

[解決策](#)

[根本的原因](#)

## 概要

この資料は Cisco Unified Contact Center Express (UCCX) スクリプト エディタ バージョン 10.5(1)を起動させるとき直面する問題を記述したものです。

## 問題

UCCX エディタ バージョン 10.5(1) ( `CiscoUnifiedCCXEditor.exe` ) を実行することができません。

## 症状

起動させたとき、UCCX エディタ ウィンドウは秒以内のために現われ、消えます。アプリケーションは起動することを試みますが、消えます。

## 解決策

この問題を解決するために、CCX エディタのファイルがフォルダにあるかどうか確認して下さい : `C:\Program ファイル ( x86)\wfavvid_1051`。これをチェックし、エディタ アイコン ( ショートカット ) を右クリックし、**Properties > ターゲット**にナビゲート するため。インストール フォルダは `C:\Program files(x86)` に直接あるはずです。

時々、パスは不正確である場合もあります。次に、例を示します。 `C:\Program ファイル ( x86)\Cisco\Unified Serviceability\JRtmt\wfavvid_1051`。

この問題を解決するためにこれらのステップを踏んで下さい:

1. ワークステーションの CCX スクリプト エディタ アプリケーションをアンインストールするために、**Control Panel > Add/Remove Programs** にナビゲート して下さい。
2. エディタ アプリケーション ( 管理者として実行 ) を直接プログラム ファイルに再インストールし、**明示的に** パスを定義して下さい: `C:\Program ファイル ( x86)\wfavvid_1051`。
3. テストするためにアプリケーションを実行して下さい。

## 根本的原因

問題はインストール (パス) のデフォルトのロケーションと関連しています。それはそれらのファイルがない場合位置にハードコードされるファイルを探し、起動しません。デフォルトで、CCX エディタは位置にインストールする必要があります: C:\Program ファイル (x86)\wfavid\_1051。それが事実ではない場合、エディタは正しく実行されません。これをテストするために、問題は wfavid\_1051 フォルダを他の所でコピーする場合作り直すことができます。

また実時間監視 ツール (RTMT) がワークステーションで以前にインストールされたら、UCCX エディタはユーザを誤ったパスにそれをインストールするためにプロンプト表示することが注意されました: C:\Program ファイル (x86)\Cisco\Unified Serviceability\JRtmt\wfavid\_1051。

不正確な位置は、エディタの起動失敗することインストールした後。現時点で、問題を解決するために以前に述べられるステップを踏む必要があります。回避策があるがインストール関連の問題を簡素化し、対処するために、機能拡張問題は開きました: [CSCur86817](#).